

# とうぶ・虹だより

第3号

令和7年12月19日(金)発行

## 今年度のこれまでを振り返って

教頭 所 宗子



2学期の大きな行事、修学旅行や学習発表会（中学部、高等部は東翔祭）が終わり、2025年も残りわずかとなりました。

春の暖かな日差しを受け不安いっぽいに入学した新入生も、今ではすっかり学校生活に慣れ、日々の学習を楽しんでいる様子が見られます。今年の夏は猛暑日が続き、たくさん購入した熱中症指指数計を見ながら、室内での活動に切り替えるなど安全な教育活動を考えながら過ごしました。秋に計画した校外学習も、熱中症指指数を見ながら延期したり、屋外での活動時間を短くしたりなど工夫しながら活動しました。そして気が付いたら冬・・・。

こどもたちは日々の学習や活動の中でたくさんの挑戦をしています。体育の時間には目の前のサッカーボールに向かって足を動かし「シュート！」を決めたり、音楽の時間には仲間と一緒に自分の選んだ楽器で音を奏でたり。それぞれが自分なりの方法で力を発揮しようと頑張っています。学習発表会では、教員と一緒に力を合わせ今までの学習の成果が見事に発揮されました。たくさんの拍手や賞賛を受け、こどもたちの表情からは次につながる活力が見られました。

今年度から東部特別支援学校と伊豆の国特別支援学校は静岡県の研究指定を受け、韮山地区特別支援教育推進協議会で「地域と学校が一体となった共生・共育の推進に関する研究事業」に取り組んでいます。韮山地区の小学校や中学校との交流会では、学校を案内したり、ゲームや女子トークに花を咲かせたりと普段の学校生活では味わうことのできない同年代との関わりが見られました。まずはお互いを「知ることで、お互いを理解し認めあう姿につながります。これから社会はものすごいスピードで変化を続け、予測困難といわれています。そんな時代だからこそ、交流活動を経験したこどもたちが多様性を理解し、認め合い支え合いながら豊かな社会の形成者として活躍してくれることを期待しています。今年もたくさんの方々とのつながりに感謝いたします。

●学校ホームページ ぜひ、ご覧になってください。



東部特別支援学校



## しょう がく ぶ 小学部

今年度の学習発表会は6年ぶりに体育館で全学年・コースが集まって発表を行いました。広い場所で多くの保護者の方々に見られながらの発表は緊張感があったと思います。そんな中でもみんな自分が学習してきた成果を自信をもって発表し、たくさんの拍手をもらうことができ、達成感につながったと思います。大きな感動を教員一同感じていきました。とてもすてきな学習発表会になりました。



## ちゅう がく ぶ 中学部

2学期は行事が盛りだくさん。3年生は修学旅行でディズニーシー、国立博物館へ。感覚で楽しむ時間や、見て聞いて学ぶ時間、仲間との思い出ができました。2年生は進路学習。ガイダンスで話を聞き、実際の見学を通して、将来の生活や進路について考えるきっかけとなりました。1年生は伊豆特との2回目の交流。相手校を訪問し、歌のおもてなしを受け、一緒にボッチャを楽しみました。交流のお礼の手紙を受け取ったり、地域作業で来校する園芸班との関わりが生まれたりと、小さな交流も広がってきました。そして最後は集大成の東翔祭。それぞれの学びを見る形で伝え、おもてなしを成功させることができました！

## こう とう ぶ 高等部

11月29日（土）高等部・訪問教育の東翔祭を行いました。

午前は学年と訪問教育の発表。校外学習や修学旅行、高校との交流学習での学びを学年ごとにステージ発表やブース発表で伝えました。訪問教育は普段の学習を一つの物語として動画で発表しました。午後は学部全体で、保護者の皆様も一緒にダンスやボッチャ対決を行い、音楽発表では生徒の演奏とともに会場全体で歌って大いに盛り上りました。

今年のテーマ通り、たくさんの愛と笑顔をお互いに贈ることができた東翔祭になりました。

